

平成29年度事業計画・収支予算

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

歴史街道推進協議会

平成29年6月

目次

I. 地域事業

- 1. メインルート事業 …… 2
 - 1) 歴史文化を活かした余暇づくり
 - 2) 地域づくり、受入体制づくり
- 2. ネットワークエリア事業 …… 5
 - 1) 関西の歴史的地域の魅力向上
 - 2) 近畿を南北3つに分け、広域振興

II. 理念普及事業

- 1. 「日本文化体感プログラム」(日本文化理解・グローバル人材育成) …… 6
- 2. 「日本文化体感プログラム」(次世代育成・教育プログラム) …… 7

III. 広報事業

- 1. 一般広報活動 …… 8
- 2. 歴史街道倶楽部事業 …… 10

IV. 各種の受託研究・受託事業などの実施 …… 11

V. 協議会運営

- 1. 組織体制の強化、会議体運営 …… 12
- 2. 事業推進 …… 12
- 3. 会員維持・増強及び会員との交流機会の拡大 …… 12
- 4. 要望・提案活動への取り組み …… 13

平成29年度事業支出予算 …… 14

平成29年度収支予算書 …… 15

平成29年度事業計画・収支予算

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

I. 地域事業

1. メインルート事業

1) 歴史文化を活かした余暇づくり

(事業目的・方針)

新しい楽しみ方、見せ方等「歴史街道ならではの」を追求し、地域と連携して歴史文化を味わえる企画を提案し、業界、地域、来訪者に対する活用価値を高める。会員団体との連携を深め、間口を広げメインルートの魅力を広範に発信する。

(事業項目)

(1) 関西5私鉄連携企画の推進

- ・ 関西5私鉄と連携協力し、歴史街道のコンセプトを共通テーマにして、関西5私鉄各沿線の歴史街道へ、旅客誘致を図る5私鉄スタンプラリーを継続実施する。
- ・ 5私鉄スタンプラリーの実施を通して、歴史文化を活かした新たな余暇づくりによる鉄道利用者の発掘を図る。
- ・ 連携する鉄道会社のニーズを吸収し、実施結果に基づき次の新たな計画につなげる。
- ・ 朝日・五私鉄リレーウォークにおける連携を継続し、歴史街道計画のPRを強化する。

(2) JR西日本連携企画の推進

- ・ JR万葉まほろば線を舞台に平成24年度から実施してきたJR西日本、天理市との連携を更に深める。
- ・ JR西日本の協力を得て橿原市との連携を実施するとともに、引き続き、私鉄(近鉄)や桜井市との連携も検討する。

(3) メインルート上の定型モデルのルート提案

- ・ メインルート上の歴史・文化資源を自主的に探訪し、歴史街道のコンセプトを体感できる推奨モデルルートに関係諸団体と協力して開発提案する。
- ・ メインルートエリアでのモデルコースを巡り歩くための地図などの媒体ツールを作成する。

(4) 旅行会社との連携企画推進

- ・ 会員企業との連携や協力を得て、話題の歴史的スポットや歴史街道ならではの体験が味わえるツアーを企画提案、実施する。
- ・ 会員自治体とのパートナーシップ強化の手段としても活用する。

(5) 一筆書ツアーの企画

- ・第7期から全5回の試行実績等をふまえ、歴史街道コンセプトの浸透を図るべく、伊勢～飛鳥～奈良～京都～大阪～神戸を一気通貫でたどる旅の商品化に向けて旅行会社等との連携を進める。

予算 2,480千円 (H28: 2,500千円)

2) 地域づくり、受入体制づくり

(事業目的・方針)

地域資源の発掘、地域の魅力づくりに広域官民連携で取り組み、その地域らしさを発信することで、地域住民に誇りと自信を持ってもらい、地域が主体となって展開できる環境づくり、活力ある地域づくりに貢献する。

(事業項目)

(1) 広域官民連携事業の推進

歴史街道メインルートの歴史的連続性、重層性を確認するための重要な事業として位置づける。時代テーマごとに各地で進めている地域連携事業の将来像を確立のうえ、地域連携事業を発展させ、古代～近代の歴史の流れを一つのルートとしてつなぎ、歴史街道のコンセプトを具体化する。

① 伊勢～飛鳥間連携事業

- ・日本風景街道「伊勢街道」連絡協議会や沿線自治体等とフォーラムを実施する。
- ・街道の案内看板の設置や街道ウォークなどを関係団体と連携して実施する。

② 飛鳥～奈良～京都間連携事業

- ・勉強会の実施とリレーウォークや現地講座等を開催する。平成28年度の検討をふまえ、「鉄道」「食」をテーマに、今後、参加自治体をメンバーとするワーキング会議で検討していく。「鉄道」テーマについては、木津川市、橿原市において実施する。
- ・リレーウォークの実績をふまえ、当エリアのマップの作成を引き続き検討実施する。

③ 京都～大阪～神戸間西国街道連携事業

- ・講演会やリレーウォークを実施する。実施内容等については、②と同様、参加自治体等をメンバーとするワーキング会議で検討する。

④ 京都～大阪間京街道・淀川左岸地域連携事業

- ・京街道・淀川左岸地域の5つの自治体と京阪ホールディングスとの連携事業として、当地域の自治体の史跡等歴史文化の掘り起こしとリレーウォークや現地講座等PRを行う。
- ・実施内容等については、②③同様、参加自治体等をメンバーとするワーキング会議で検討する。
- ・京阪ホールディングスや当地域の自治体の協力を得て、京街道を紹介するマップを作成する。

⑤ メインルート連携事業

- ・伊勢～飛鳥～奈良～京都～大阪～神戸の各連携事業（飛鳥～奈良～京都間連携事業、西国街道連携事業、京街道・淀川左岸地域連携事業）が相互に協力し広域連携を試行する。

(2) 各地のボランティアガイド組織との共同事業や運営を強化する事業活動

- ・受入体制の充実や余暇づくりの新メニューの開拓を進めるため、引き続きボランティアガイド組織との連携事業を行う。
- ・各ボランティアガイド組織の連携を強化するため、フォーラムを実施し、ガイド実施方法等ノウハウの共有を図り、受入体制づくりを強化する。

(3) 訪日外国人に日本文化を紹介する活動

- ・メインルート上の歴史・文化資源や施設の資料などを整備し、インバウンド対策を強化する。
- ・訪日外国人を対象とした歴史文化と現在の日本を紹介するモデルコースを作成し、関係機関に提案する。
- ・上記事業を推進するため、各種補助事業などへの応募を行う。

予算 2,220 千円 (H28: 1,800 千円)

2 ネットワークエリア事業

(事業目的・方針)

- ・南北近畿エリアの活性化（情報発信力、地域リーダー等との連携強化）
- ・「世界文化遺産」地域連携会議等との連携によるPR活動、地域振興活動

1) 関西の歴史的地域の魅力向上

- (1) 「歴史街道」モデル事業の推進、世界遺産特別法の制定などにつき、国などの関係機関に要望・提案を行う。
- (2) 地元主導による着地型観光の内容づくり、メニューの発信などに協力する。
- (3) 地域リーダー・ネットワークのさらなる充実を図り、協議会と地域、また地域・官民間の各種共同・連携事業実現を促進する。
- (4) 観光案内所ネットワーク（100箇所）の維持に努める。
- (5) 「世界文化遺産」地域連携会議などとコラボレーションし、近畿の世界文化遺産地域関連事業をさらに活性化させる（欧米豪からのインバウンド対策など）。

2) 近畿を南北3つに分け、広域振興

(1) 紀伊半島

平成28年度は持続可能な広域圏形成をめざし「紀伊山地の霊場と参詣道」に関わる人材ネットワークの形成と情報整理（10言語HP・全体MAP・パンフレット）を行った。本年度は、全体情報の発信を最重点テーマとし、外国人の受入体制整備のための補助事業（受託事業）の獲得に努める。

(2) 北近畿・琵琶湖・若狭エリア

- ① 「食と歴史の回廊」（環状高速道路に沿った連携）を切り口とする人材ネットワークの形成と情報整理がほぼ完了（10言語HP・QRコード入りMAP・パンフレット）。将来あるべき推進体制像を探りながら、体験メニューの発信、各種共同事業の実現（例：四季の魅力づくり、三大英傑関係地や重要伝統的建造物群保存地区間の連携）に着手する。

- ② 風景街道「琵琶湖さざなみ街道・中山道」を核にした滋賀県の地域団体等と協働した資源発掘、まちづくり、自転車観光の振興に取り組む。

- (3) 百舌鳥・古市古墳群等の世界遺産登録支援など、播磨、南大阪地域などの振興に努める。

予算 1,500千円 (H28: 1,300千円)

II. 理念普及事業

1. 「日本文化体感プログラム」(日本文化理解・グローバル人材育成)

(事業目的・方針)

歴史街道計画の理念を具体化し日本の国際競争力強化の一助とする。グローバル人材育成に向け企業研修プログラムを協議会の中核を担う事業へと育成していくべく、第8期計画に示した事業方針に沿って、コンテンツ・PR・体制の整備・拡充に取り組む。

(事業項目)

(1) コンテンツの充実

- ① 日本政府が招致した外国人に対し、英語のみならずその母国語で日本文化を伝えるコンテンツの充実
- ② 研修目的にマッチした座学資料の整備
- ③ 現地体験ガイド資料の整備 など

(2) 組み込み提案力の強化

講義コンテンツ、視察コースの拡充をベースに対応力をあげ、企業・団体の研修における「日本文化体感プログラム」の標準化を目指す。

- ① JICA/PREX連携の維持・強化
- ② 企業及び研修事業者の新規開拓(会員企業へのアプローチ、体験会の継続) 一般企業の社員研修、自治体の職員研修、新規研修事業者など
- ③ 講演、講義、セミナー 大学(観光学部、国際教養学部、経営学部、文学部など)におけるプログラムの実施
- ④ 外国人誘致エージェント向けプログラム提案
- ⑤ 研修事業者の開拓
- ⑥ 展開地域の拡大や体験型視察コースの開発

(3) 普及活動

産官学における認知度を上げ歴史街道ブランドの強化に貢献する。

プログラムの実施を機に歴史街道の活動や理念も伝える。

- ① 経済団体等の委員会・部会でのプレゼン活動
 - ・経済団体(関西経済連合会、日本経済団体連合会、各地の商工会議所)などの会員に向けた発信
- ② 各メディア、外国特派員などへの理解推進活動
 - ・協議会ホームページの整備(「日本文化体感プログラム」の概要掲載など)
 - ・マスコミ広報アプローチ(メディア体験会など)
 - ・「日本文化体感プログラム」パンフレットの活用

(4) 実施体制の整備

- ①座学講師の育成、人材確保と多言語対応力の強化
- ②会員企業・団体、地域ボランティアガイドなどの協力体制整備
- ③ガイドのレベル維持に向けた通訳案内士との協力体制の強化

予算 4,000千円 (H28: 2,300千円)

2. 「日本文化体感プログラム」(次世代育成・教育プログラム)

(事業目的・方針)

歴史街道計画の発信力を高め、持続成長可能な取り組みにしていくためには、次世代育成に向けた「体験型歴史・文化学習プログラム」の開発が不可欠である。教育関係者や企業・団体における本事業の意義と社会的役割の認識を深め、時代区分や地域的なバランスのとれた多様なプログラムを提案し実行する力を高め、歴史街道版教育プログラムの体系づくりに努める。

(事業項目)

(1) 教育プログラム体系の構築

古代から近代に至る時代ゾーンに偏りができないよう年間を通じたテーマ素材の発掘・検証を行う。

- ・時代ゾーン、ターゲット層(主に小中学生とその保護者)、テーマ素材の検討
- ・実施企画の検証と活用、年間サイクルの確立
- ・プログラム強化・定番化

4月22日(土) 奈良教育大学公開講座「ならまち今昔フォト探検」

6月・10月 史跡日根荘遺跡で米作り体験(田植えと稲刈り)

候補案(今後詳細を検討する案(仮称))

10月 あすか今昔イラスト探検

12月 大阪城のナルホド再発見

3月 斑鳩町歴史探検

(2) 教育ネットワークの構築

大学や企業団体と連携し継続して実施するプログラム、あるいは新規に実施するプログラムをベースに教育的コンテンツや伝え方を学び、協議会のブランド強化を図る。

- ・大学連携、会員企業・団体との連携で取り組んできた事業の継続
- ・歴史街道版「教育プログラム」教材の開発
- ・共同企画開発の推進

協議会活動の理解促進、教育プログラムを活かした社会貢献活動への参画意識の高揚を図るため教育機関、協力団体・企業との共同企画開発を推進。

(3) 普及活動

- ・ 取り組み毎の広報計画づくり
- ・ PRルートの開拓（教育委員会、子ども会ほか）
- ・ 協議会会員、経済団体への広報
- ・ ホームページの整備（事業コンセプト、取り組み内容の紹介等）
- ・ 教育プログラム推進パンフレットの活用

予算 540 千円 (H28: 700 千円)

Ⅲ. 広報事業

1. 一般広報活動

(事業目的・方針)

歴史街道計画の知名度向上、理念訴求、歴史街道ブランドの強化、歴史街道各地の魅力を発信する。

(事業項目)

(1) 戦略機能の強化

①こまやかな情報発信

(a) マスコミ、関係者向けの情報提供

- ・ メールマガジン「歴史街道なう」（毎月第4木曜日）の発信
- ・ ダイレクトメール「TOPICS」（年2回）の発信
- ・ イベント等開催時のプレスリリース適時発信
- ・ 歴史街道情報交換会〔市町村共同事業〕開催
- ・ 自治体、関係団体の情報交換会等への参加

(b) 一般向けの情報提供

- ・ メールマガジン「DO楽」（毎月第2木曜日）の発信
- ・ ダイレクトメール「TOPICS」（年4回）の発信
- ・ 月刊「歴史街道」における記事掲載
- ・ 朝日放送「歴史街道スペシャル」放映に対する協力
- ・ CATVリレー番組「歴史街道～わたしたちのまちの歴史と文化～」放映に対する協力
- ・ 5私鉄の沿線情報誌等、会員企業の媒体での掲出

②イベント型広報の実施、事業機会の創出

- ・ 歴史文化遺産フォーラムの開催（関西広域連合共催）
- ・ 紀伊山地三霊場フォーラムの開催（紀伊山地三霊場会議共催）
- ・ その他

継続して連携している関係団体とのイベント型広報（講演会、セミナー、展示会など）を企画、実施する。

③地域情報の収集と歴史街道的な切り口による発信

- ・ Facebook での発信
- ・ 地域の歴史文化情報の収集
- ・ Instagram での発信（試行）

※instagram（インスタグラム）

…写真に特化したSNS、フェイスブック等とも連携できる。

スマートフォンでの撮影を主として若年層の人气が拡大している。

予算 5,060 千円 (H28: 4,350 千円)

(2) 広報ツールの強化

①ホームページ

- ・ 事業進捗に応じて速やかに更新
- ・ 地域の歴史文化情報を継続的に発信
- ・ 第9期に向け、ホームページ全体の更新を検討

②多言語化対応動画

- ・ Youtube「旅の星」のライブラリー充実
- ・ 会員団体、関係団体との連携、協力強化

③デジタルネットワーク型広報の強化

- ・ Facebook、メールマガジンの継続

④広報ツールの作成、展示・配布

- ・ 外国語版関西世界遺産パンフレットの制作（関西広域連合共催）
- ・ WEB版「歴史文化遺産の楽しみ方 in 関西」の充実

⑤歴史街道スタンプラリーの実施〔市町村共同事業〕

- ・ 「歴史街道スタンプラリー2017」の開催
- ・ 第9期に向けて「歴史街道スタンプラリー」の発展、充実

予算 4,840 千円 (H28: 4,390 千円)

(3) 広報ネットワークの強化

①人的ネットワークの強化

情報交換会〔市町村共同事業〕を開催するとともに、自治体、関係団体の情報交換会等へ参加し、マスコミとのネットワークを構築する。〔再掲〕

②マス媒体への企画提案

マスコミに対して、協議会の事業理解と共同企画の実現を働きかける。

③情報発信拠点の拡充

歴史街道iセンターの現況把握を行い、iセンターの活用方法の検討を行う。

④協議会会員団体の持つ媒体との連携

会員団体の支援を得て、各団体の持つ様々な媒体との連携広報活動を行う。

- ・ 一般向け：5私鉄の沿線情報誌等、会員企業の媒体での掲出を行う。〔再掲〕
- ・ 会員団体向け：各社のイントラネット、社内報、PR誌 など。

⑤関係団体と連携した情報発信強化

継続して連携している関係団体に積極的に提案し、相互により効果的なイベント型広報（講演会、セミナー、展示会など）を企画、実施する。[再掲]

予算 1,590 千円 (H28: 1,590 千円)

| | |
|--------|--------------------------------|
| 一般広報活動 | 予算計 11,490 千円 (H28: 10,330 千円) |
|--------|--------------------------------|

2. 歴史街道倶楽部事業

(事業目的・方針)

新規会員獲得に向けた活動をより強化するとともに、地域や年齢などのニーズに応じたサービスの充実を図っていく。

(事業項目)

(1) 戦略機能の強化

①会員増強プラン

- ・サポーター会員募集の試行結果を経て、キャンペーンを計画、実施する。
- ・特別会員制度等の検討を行う。

②首都圏企画の開発

- ・首都圏での認知度向上のため、イベントを積極的に開催する。
- ・自治体や企業の東京事務所等に働きかけ、施設等での協議会情報発信を依頼する。

③イベント広報との連携

- ・イベント広報時に倶楽部入会案内を積極的に行う。

④他団体との連携

- ・近鉄文化サロン、近畿文化会、会員団体等との連携講座やイベントを実施する。

(2) 新規会員の獲得と既存会員の維持

①会員誌『歴史の旅人』

- ・春、夏、秋、冬の年4回の発行を継続
- ・適切なテーマ、地域を選定した特集の設定
- ・高品質な会員誌の積極的なPR

②アンケート

- ・会員アンケート結果の分析を行い、団塊シニアの嗜好を把握する。
- ・WEBアンケートを検討する。

③勧誘

- ・協議会企業会員アンケートの結果をふまえ、企業OB会等への勧誘を行う。
- ・事務局全員による勧誘活動
- ・会員増強キャンペーンの実施（お友達紹介、入会金無料など）

④倶楽部イベント

- ・人気イベント継続
京の旅、歩いてたどる歴史街道、五感で体感！にほん文化シリーズ（近鉄文化サロン共催）など
- ・「古事記」シリーズの継続
- ・[再掲] 首都圏企画の開催

⑤ボランティアスタッフの積極的活用

【参考：ボランティアスタッフの活動】

- ・定例会議 4月、7月、10月、1月
- ・テーマ別会議 随時開催
- ・フォーラム活動
「湯けむりの仲間」「ぶらり！歴史旅」「きまぐれフォーラム」
「中世の山城めぐり」「鉄道廃線フォーラム」など

⑥積極的発信

- ・倶楽部ツイッターの活用
- ・協議会 Facebook での活動報告掲載

予算 18,180 千円 (H28: 20,500 千円)

IV. 各種の受託研究・受託事業などの実施

観光庁を始めとした行政・各種財団等が公募する受託事業、助成事業等獲得に取り組み、事業化を図る。

予算 1,000 千円 (H28: 5,000 千円)

V. 協議会運営

(事業項目)

1. 組織体制の強化、会議体運営

(1) 協議会事務局組織体制の強化

事務局スタッフの充実強化

- ・推進事業の充実・拡大に必要な事務局スタッフとして、会員企業等へ出向職員要請に取り組む。
- ・事業継続のため、プロパースタッフの採用と育成に取り組む。

(2) 会議体運営

- | | |
|---------------|------------------------|
| ①総会 | 1回 [6月6日(火)] |
| ②理事会 | 1回 [6月6日(火)] |
| ③幹事会 | 1回 [5月16日(火)] |
| ④専門部会 | 適宜 |
| ⑤全体会議 | 3回 [4月25日(火)・9月・2月を予定] |
| ⑥勉強会・現地見学会の実施 | 1回 [10月～11月頃を予定] |

(3) 歴史街道第9期計画の策定について

- ・今年度は、第8期計画の最終年度に当たることから、第8期計画の成果と課題を平成29年度末に総括する。
- ・平成30年度から3ヶ年の事業指針となる「歴史街道第9期計画」の事業戦略（事業の定義、事業目標、事業方針等）について専門部会、幹事会等で審議し、全体会議に検討案を報告する。

予算 650千円 (H28: 650千円)

2. 事業推進

I～IVの事業を推進する。

予算 200千円 (H28: 100千円)

3. 会員維持・増強及び会員との交流機会の拡大

- (1) 法人会員の拡大に取り組む。
- (2) 会員との交流の機会を拡げ、法人会員との連携・協力を努める。
- (3) 会員を対象とした勉強会や現地見学会等の充実を図る。

予算 150千円 (H28: 250千円)

4. 要望・提案活動への取り組み

- (1) 歴史街道の理念に沿った事業への広報協力金の拡大や公募事業等への積極的な取り組みを行う。
- (2) 歴史街道計画の推進に必要な、国・自治体・企業等との連携事業については、関係団体に積極的に働きかけ、事業の推進にあたる。
- (3) 「企画提案型事業」については、会員企業等へ積極的に提案していく。
- (4) 2020年東京オリンピック・パラリンピック、関西ワールドマスタースゲームズ2021開催に向け、インバウンドを意識した企画提案や運営に積極的に協力していく。
- (5) 一般社団法人関西観光本部への参画
4月に設立された、関西広域での観光客誘致の推進を目的とした広域連携DMO「関西観光本部」に官民連携団体として参画していく。
- (6) 文化庁の京都移転に伴う関西全体での気運醸成のための企画について、関西広域連合や関西経済連合会等と連携し、積極的に取り組んでいく。

予算 120千円 (H28: 120千円)

<ご参考：会員数の推移>

1. 法人会員

| | 省庁 | 自治体 | 民間企業 | 経済団体・ その他団体 | 準会員 | 合計 |
|------------|----|-----|------|----------------|-----|-----|
| 平成25年度 | 9 | 67 | 114 | 11 | 1 | 202 |
| 平成26年度 | 9 | 68 | 111 | 12 | 1 | 201 |
| 平成27年度 | 9 | 69 | 110 | 13 | 1 | 202 |
| 平成28年度 | 8 | 67 | 112 | 12 | 1 | 200 |
| 平成29年度(予想) | 8 | 62 | 109 | 12 | 1 | 192 |

2. 歴史街道倶楽部 会員

| | 個人会員 | 法人会員 | 合計 |
|--------|-------|------|-------|
| 平成25年度 | 2,703 | 15 | 2,718 |
| 平成26年度 | 2,562 | 16 | 2,578 |
| 平成27年度 | 2,361 | 14 | 2,375 |
| 平成28年度 | 2,071 | 14 | 2,085 |

平成29年度事業支出予算

(単位：千円)

| | | |
|-------|----------------|--------|
| I-1 | メインルート事業 | 4,700 |
| -2 | ネットワークエリア事業 | 1,500 |
| II- | 理念普及事業 | 4,540 |
| III-1 | 一般広報活動 | 11,490 |
| III-2 | 歴史街道倶楽部事業 | 18,180 |
| IV- | 各種の受託研究・受託事業など | 1,000 |
| 計 | | 41,410 |

| | | |
|-----|----------------------|-------|
| V-1 | 組織体制の強化、会議体運営 | 650 |
| -2 | 事業推進 | 200 |
| -3 | 会員維持・増強及び会員との交流機会の拡大 | 150 |
| -4 | 要望活動・提案活動への取り組み | 120 |
| 計 | | 1,120 |

| | | |
|-----|--|--------|
| 合 計 | | 42,530 |
|-----|--|--------|

(H28: 45,550)

平成29年度収支予算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

| 科 目 | 29年度予算額(a) | 28年度予算額(b) | 増減(a-b) |
|---------------------|---------------------|---------------------|--------------------|
| I. 事業活動収支の部 | | | |
| 1. 事業活動収入 | | | |
| ①特定資産運用収入 | 2,000 | 10,000 | △ 8,000 |
| ②会 費 収 入 | 52,670,000 | 58,500,000 | △ 5,830,000 |
| 会費収入 | 34,490,000 | 38,000,000 | △ 3,510,000 |
| 個人会員会費収入 | 18,180,000 | 20,500,000 | △ 2,320,000 |
| ③事 業 収 入 | 1,000,000 | 5,000,000 | △ 4,000,000 |
| 受託事業収入 | 1,000,000 | 5,000,000 | △ 4,000,000 |
| ④負 担 金 収 入 | 24,245,000 | 22,500,000 | 1,745,000 |
| 広報協力金収入 | 20,895,000 | 19,150,000 | 1,745,000 |
| 共同イベント負担金収入 | 3,350,000 | 3,350,000 | 0 |
| ⑤雑 収 入 | 5,263,000 | 4,000,000 | 1,263,000 |
| 事業活動収入計 | 83,180,000 | 90,010,000 | △ 6,830,000 |
| 2. 事業活動支出 | | | 0 |
| ①事 業 費 支 出 | 57,590,000 | 61,350,000 | △ 3,760,000 |
| 会 議 費 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 |
| 要 望 活 動 費 | 120,000 | 120,000 | 0 |
| 広 報 費 | 41,410,000 | 44,430,000 | △ 3,020,000 |
| 給 料 手 当 費 | 12,040,000 | 12,040,000 | 0 |
| 福 利 厚 生 費 | 2,550,000 | 3,040,000 | △ 490,000 |
| 旅 費 交 通 費 | 470,000 | 720,000 | △ 250,000 |
| ②管 理 費 支 出 | 25,500,000 | 25,660,000 | △ 160,000 |
| 給 料 手 当 費 | 8,200,000 | 8,200,000 | 0 |
| 福 利 厚 生 費 | 1,600,000 | 1,600,000 | 0 |
| 旅 費 交 通 費 | 770,000 | 870,000 | △ 100,000 |
| 通 信 費 | 1,700,000 | 1,800,000 | △ 100,000 |
| 消 耗 品 費 | 4,940,000 | 4,900,000 | 40,000 |
| 交 際 費 | 0 | 0 | 0 |
| 新 聞 図 書 費 | 0 | 0 | 0 |
| 賃 借 料 | 6,860,000 | 6,640,000 | 220,000 |
| 水 道 光 熱 費 | 280,000 | 350,000 | △ 70,000 |
| 租 税 公 課 費 | 400,000 | 900,000 | △ 500,000 |
| 事 務 雑 費 | 750,000 | 400,000 | 350,000 |
| 事業活動支出計 | 83,090,000 | 87,010,000 | △ 3,920,000 |
| 事業活動収支差額 | 90,000 | 3,000,000 | △ 2,910,000 |
| II. 投資活動収支の部 | | | 0 |
| ①投資活動支出 | 3,000,000 | 3,000,000 | 0 |
| 退職金給付引当資産取得支出 | 3,000,000 | 3,000,000 | 0 |
| 投資活動支出計 | 3,000,000 | 3,000,000 | 0 |
| 投資活動収支差額 | △ 3,000,000 | △ 3,000,000 | 0 |
| III. 予備費支出 | 36,890,397 | 40,980,678 | △ 4,090,281 |
| 当期収支差額 | △ 39,800,397 | △ 40,980,678 | 1,180,281 |
| 前期繰越収支差額 | 39,800,397 | 40,980,678 | △ 1,180,281 |
| 次期繰越収支差額 | 0 | 0 | 0 |